

小金井新時代へ

西岡真一郎 さんに聞く

水と緑の 環境先進都市を 市民協働でつくる

野川やくじら山
宝はたくさんある



▶西岡さんが子どもの頃遊んでいた野川で

◆編集部：未来にむけて小金井市をどのようにすればいいのでしょうか？

◆西岡真一郎：「小金井市の良いところを伸ばす、より魅力を高めることが必要です。そのひとつは、水環境が良く、緑が多いことです。私が小さい頃の遊び場だった野川やくじら山に象徴される水と緑の自然環境、このような小金井の『宝』、自然環境を守るだけではなく、もっと良くすることで、もっと誇りのもてる小金井市に生まれ変わることができます。私は保育園で働いているとき、太陽の下で泥遊びを楽しみ、暑い日には水と戯れてぐんぐんと成長していく子どもたちの姿は大きな喜びでした。これは保護者も保育士も同じだと思います。子どもの成長には、自然が大切です。都市化が進む小金井市ですが、他の市にはない魅力的な自然が残って

いるのが小金井市の『宝』であり大きな魅力のひとつです。今こそ、水と緑の環境先進都市にしなければなりません。

ですが、緑を守り、さらに広げるには行政だけでは限界があります。市民の皆さんとの協働が必要です。一部の公園では市民と一緒に花壇づくりを始めています。同じように公園や公共施設の緑と一緒に守る活動を広げることが必要だと思います。緑を守るための公園は、これからも必要ですが、整備の検討段階から市民の皆さんに参加していただき、一緒に公園をつくり、魅力的を高め、持続可能な緑を守る仕組みも必要だと考えています。小金井らしい緑、それは市民力でつくる。これが『宝』であり、新しい小金井の魅力になるのです。一緒につくりましょう」



今こそ!

市民力 結集!

小金井の未来を考えてみよう!



Q: 緑はどうなる?

ポイント! 都市農地とネットワークで守る

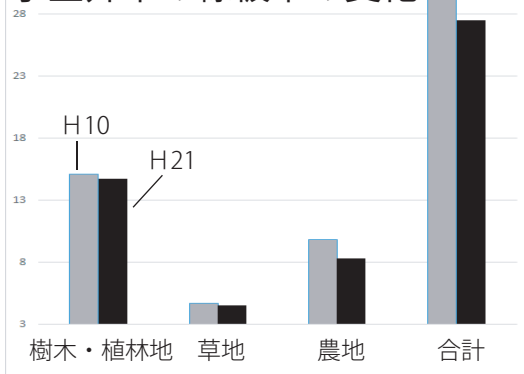


▶西岡真一郎さん

編集部: 小金井市の緑はどうなっていますか?
西岡真一郎: 「小金井市は、小金井公園や武蔵野公園に加え大学や玉川上水、野川などの緑が多いのが特徴です。近隣市(府中市、調布市、武蔵野市、小平市、国分寺市)と比較すると市域面積に占める公園面積の割合は6.78%で最も多いのです(※)。

ですが、平成10年度から平成21年度の緑被率を調べてみますと29.5%から27.5%と減少していました。農地面積が減少しているのが大きな理由です。農地は、ヒートアイランド現象を緩和することや地産地消という貴重な食のつな

小金井市の緑被率の変化



がりを市民が共有できる重要な産業であり、子ども達に食育を推進することができる大切な財産と考えなくてはなりません。市民農園や緑の公園への転用なども含めて守ることが必要です。東京都や国への働きかけも必要です。

また、緑をネットワークすることも考えています。玉川上水と野川、点在する公園や農地、屋敷林、緑化した道をつなぐことで歩いて楽しめる『宝』にしたい。

そして、どのように緑を守るか、ネットワークするかは市民の皆さんと一緒に考えて行動することが必要不可欠と考えています」

編集部: 緑という小金井の『宝』には、市民力が必要ということですね。ありがとうございました。



※小金井市緑の基本計画より

◆西岡真一郎(にしおか しんいちろう)さんプロフィール◆

1969(昭和44)年5月11日生、46才、牡牛座◆無所属◆履歴: 小金井市立南小学校、小金井市立第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業。自由民主党本部事務局、新党さきがけ本部事務局に勤務後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラム。1997年小金井市議会議員当選(2期8年)、2005年東京都議会議員(2期8年・民主党公認)、2013年3期目に挑むも惜敗。パピーナ本天沼保育園(認可)事務長◆主な地域活動: 小金井市トライアスロン連合会長、小金井市遺族会会長代行、小金井薪能理事、こども達を薬害から守る実行委員会委員、阿波踊り連「むさし南連」理事、小金井青年会議所シニアクラブ理事、東京小金井ライオンズクラブ理事、NPO法人小金井桜を復活する会副理事長 他

無所属
小金井育ち



小金井が好きだ!



小金井の未来を創る会
facebookはこちら

<https://www.facebook.com/snishiokajp>



西岡真一郎
facebookはこちら

<https://www.facebook.com/nishiokashinichirou>

